工事共通構造図改正資料

令和 8 年 10 月

名古屋市緑政土木局

構造図　改正箇所一覧表（R8.10）

	大分類	中分類	小分類	改正箇所内容	備考
168	100 排水工	汚水桝工	A，A’，B，B’	構造図の修正（改正図面を参照）	
321	300 安全施設工	パイプ柵	H=0.45、0.60、0.7m	構造図の修正（改正図面を参照）	
324	300 安全施設工	フェンス工	H＝0.8、1.5、2.0m	構造図の修正（改正図面を参照）	
325	300 安全施設工	フェンス工	H=3.0、4.0m	構造図の修正（改正図面を参照）	
326	300 安全施設工	車止工	固定・可動	構造図の修正（改正図面を参照）	
413	400 電気施設工	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工	A・B	構造図の修正（改正図面を参照）	
733	700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-25用	構造図の差替（改正図面を参照）	
734	700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-14用	構造図の差替（改正図面を参照）	
735	700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-25、T-14蓋裏面図	構造図の削除	
803	800 擁壁工	公園ブロック積工	1･2･3･4 段	構造図の修正（改正図面を参照）	
901	900 縁石工	ブロック縁石工	A･B	構造図の修正（改正図面を参照）	
902	900 縁石工	ブロック縁石工	C･D	構造図の修正（改正図面を参照）	
1201	1200 遊戯施設工	砂場工（平面図）		構造図の修正（改正図面を参照）	
1311	1300 管理便益施設工	量水器取付部工・給水管工	φ13･20･25	構造図の修正（改正図面を参照）	

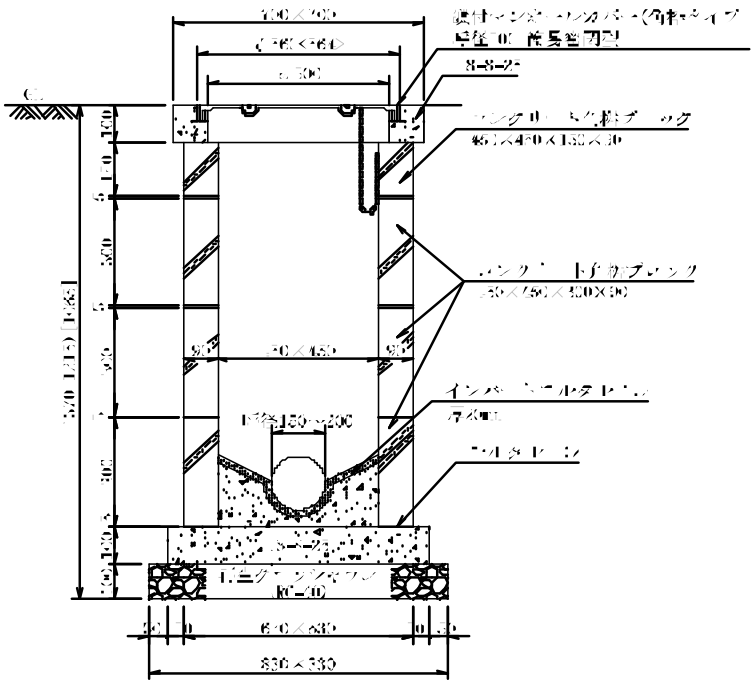
赤字は、改正箇所

大分類	中分類	小分類	年度
100 排水工	汚水桝工	A, A', B, B'	18.10

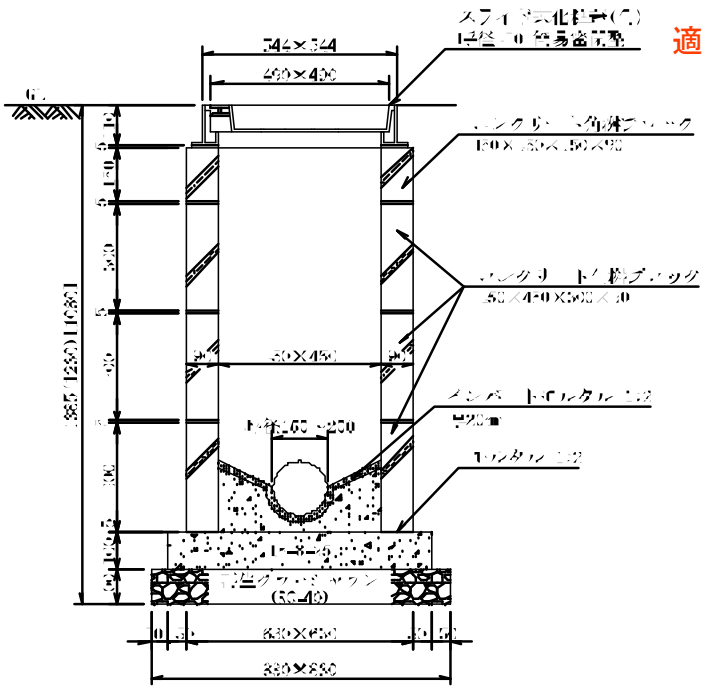
適用年度の修正

汚水桝工

A・A'－1，2，3



B・B'－1，2，3



汚水桝二（A，A'，B，B'）対応表

名称	材料表								1m当たり質量 (kg)	摘要
	現場打コンクリート 18-8-25 (m³)	ブロック 1.5 (個)	ブロック 1.5 (個)	モルタル (m³)						
				450×450×50	600×600×60	1.5	1.5	1.5	1.5	
A－1	0.689	1.021	0.052	30	30	30	—	—	—	6.65
A－2	0.689	1.021	0.052	30	—	30	—	—	—	6.65
A－3	0.689	1.021	0.052	30	30	30	—	—	—	6.65
A'－1	0.689	1.071	0.052	30	30	—	30	—	—	6.65
A'－2	0.689	1.071	0.052	30	—	—	30	—	—	6.65
A'－3	0.689	1.071	0.052	30	30	—	30	—	—	6.65
B－1	0.689	0.750	0.052	30	30	—	—	10	—	2.95
B－2	0.689	0.750	0.052	30	—	—	—	10	—	2.95
B－3	0.689	0.750	0.052	30	30	—	—	10	—	2.95
B'－1	0.689	0.750	0.052	30	30	—	—	—	30	2.95
B'－2	0.689	0.750	0.052	30	—	—	—	—	30	2.95
B'－3	0.689	0.750	0.052	30	30	—	—	—	30	2.95

数量の修正

注記事項

1. （　）内は、A－2，A'－2，B－2，B'－2の寸法とする。
2. 〔　〕内は、A－3，A'－3，B－3，B'－3の寸法とする。
3. （　）内は、A'－1，A'－2，A'－3の寸法とする。
4. 汚水ハンドホール蓋は、鋳鉄製、重量荷重型、受枠タイプ、T－25（T－以上、「汚水」文字鋳出、材質等資料参照）とする。

名古屋市建設工事共通 | 作成年月 | H8.7

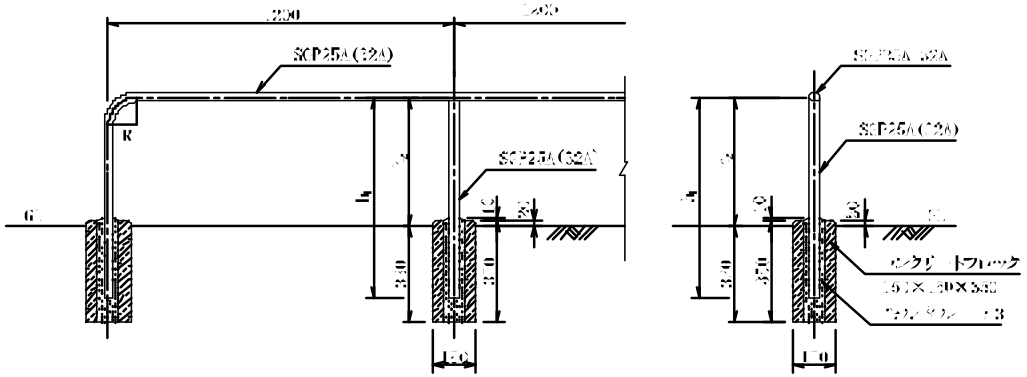
大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	パイプ柵工	H=0.45，0.60 0.70m	28.10

パイプ柵工

適用年度の修正

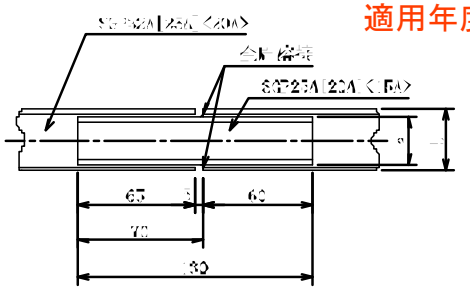
立面図
H=0.45m（H=0.6m）

※（　）内は、H=0.6mを表す



断面図
H=0.45m（H=0.6m）

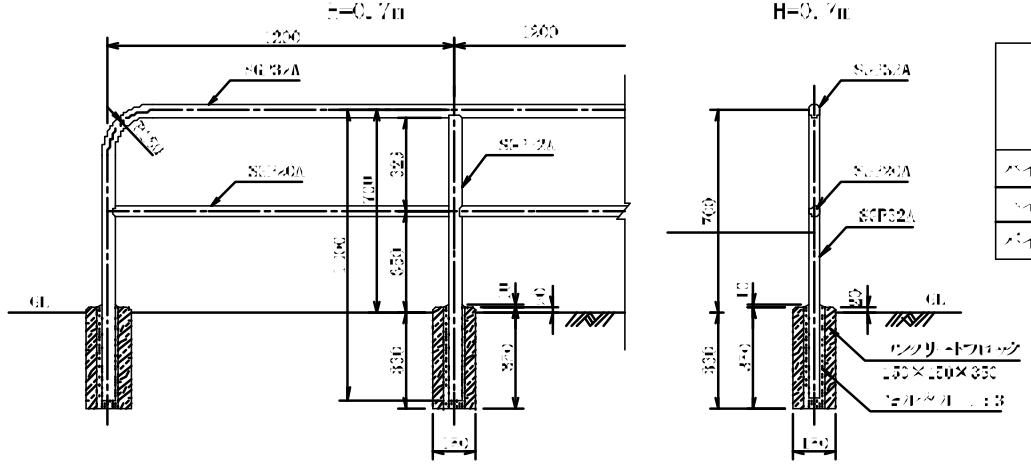
継手詳細図



パイプ柵工数量表

名称	寸法					備考
	l_1	l_2	t	a	b	
パイプ柵（H=0.45m）	900	450	300	27.7	34.0	
パイプ柵（H=0.6m）	900	600	150	34.0	42.7	
パイプ柵（H=0.7m）	—	—	—	34.0 27.7	42.7 27.7	

立面図
H=0.7m



断面図
H=0.7m

パイプ柵工材料表

名称	規格					数量	備考
	セメント (1:3) (t)	コンクリートブロック 150×150×350 (個)	パイプ柵（H=0.45m）	パイプ柵（H=0.6m）	パイプ柵（H=0.7m）	塗装 (kg/m²)	
パイプ柵（H=0.45m）	0.010	10	25.0	—	—	2.70	
パイプ柵（H=0.6m）	0.018	10	—	25.0	—	2.80	
パイプ柵（H=0.7m）	0.018	10	—	—	25.0	3.50	

数量の修正

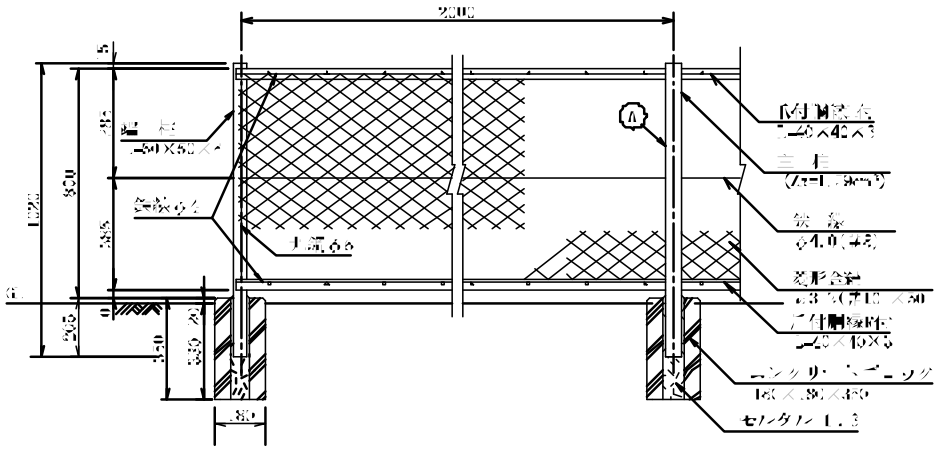
注意事項
1. 全体の外径は25.5、厚さは3.2メートル（JIS H 3010）2種4級とする。
2. 鋼材の塗装は、一塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料仕上げ（白）
　2回塗装とする。
3. 支柱間隔は、2.0mを標準とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371を参考とする。

大分類	中分類	小分類	年度
300 安全施設工	フェンス工	H=0.8, 1.5, 2.0m	18.10

適用年度の修正

フェンス工

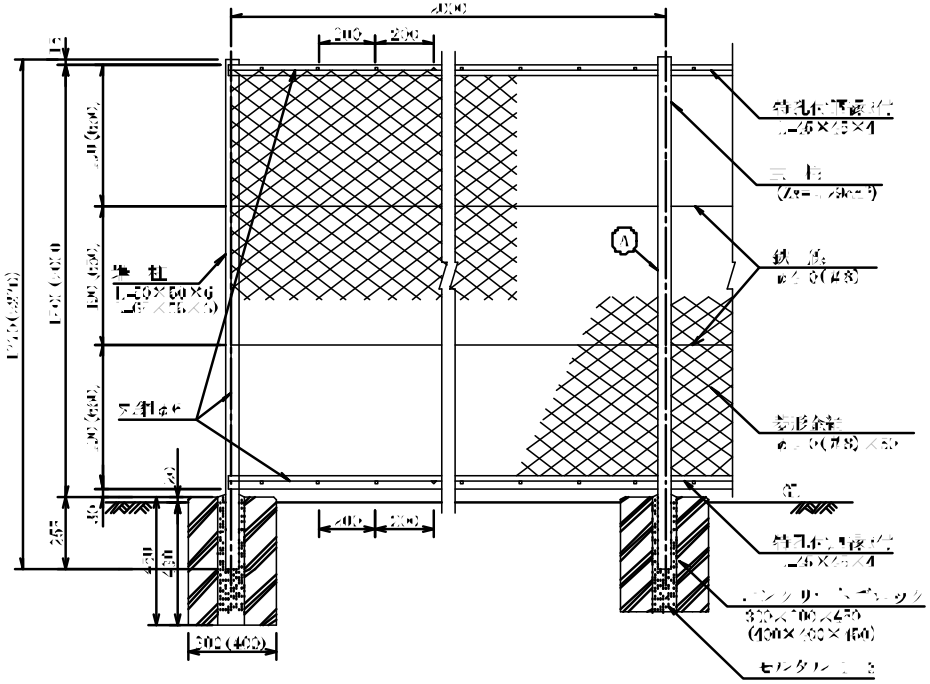
正面図
H=0.8m



上記Ⓐ部断面参考図



正面図
H=1.5m, L=2.0m



フェンス工材料表

名称	材料表 50m当り							摘要
	センタルン (1.3kg/本)	コンクリートブロック (個)			フェンス (m)			
		150×150×350	300×300×450	400×400×450	L=0.8m	L=1.5m	L=2.0m	
フェンス (H=0.8m)	0.025	40	—	—	25.00	—	—	
フェンス (H=1.5m)	0.068	—	15	—	—	10.00	—	
フェンス (H=2.0m)	0.068	—	—	15	—	—	10.00	

数量の修正

注意事項
1. [illegible]のﾋﾟｯﾁは、H=2.0mのものである。
2. フェンスの中心（U型溝上の場合にあっては、そのふちから）から、原則として全幅が道路敷地内に設置するものとする。
3. 材料規格は、JIS G 3302溶融亜鉛めっき鋼板SGCC-Z27（275g/m²以上）とし、JIS G 3101一般構造用圧延鋼材・SS400（付着量：400g/m²以上）とし、表面塗装する。
4. 基礎根入れ長（A）を含むこと。
5. 金網・金具はJIS C 3552 C-038（3種ビニルメッキ鉄線に樹脂塗装したもの）とする。
6. パネル取付金具および丸鋼は溶融亜鉛メッキ処理とし、設置前に溶融後の部品で施工する。
7. コンクリートブロックはJIS A 5371による。

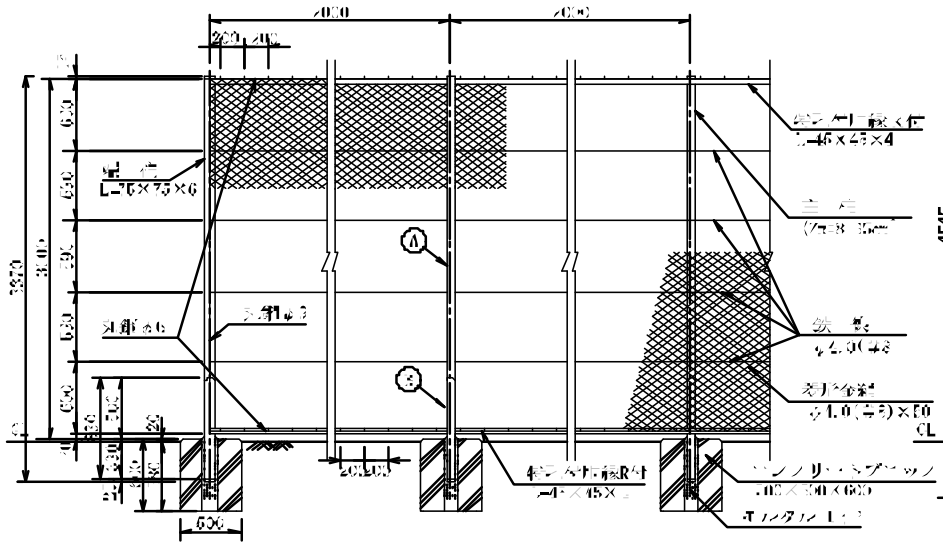
名古屋市緑政土木局 | 作成年月 | 18.10

大分類	中分類	小分類	基準年度
300 安全施設工	フェンス工	H=3.0，4.0m	88.10

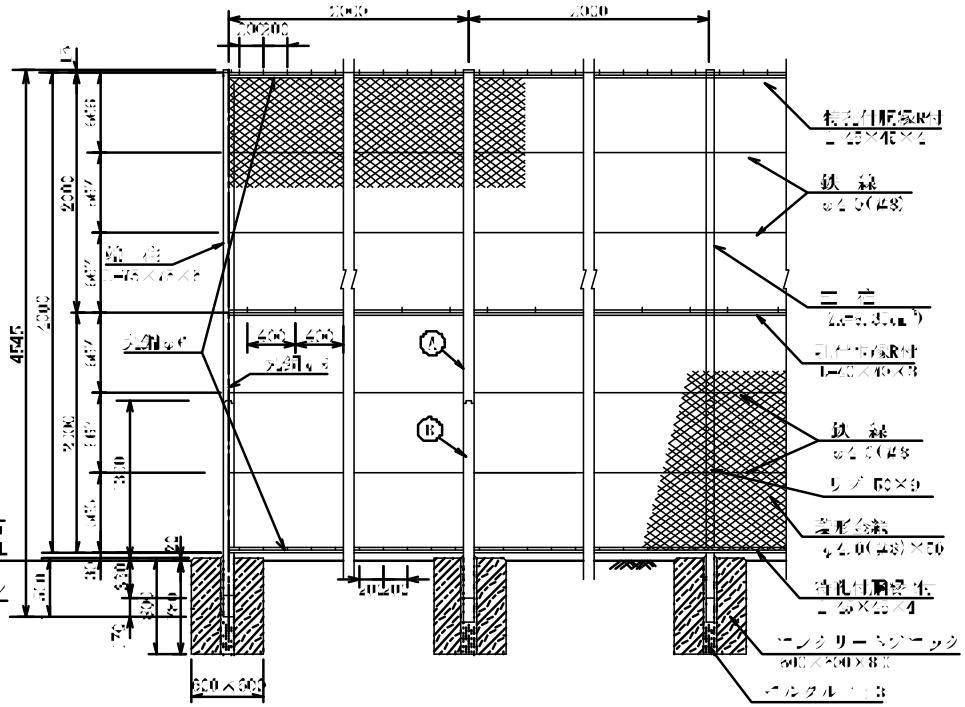
適用年度の修正

フェンス工

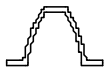
工種区
H=3.0m



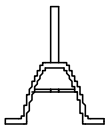
工種区
H=4.0m



工種Ⓐ部断面参考図



工種Ⓑ部断面参考図
（リブ付き）



フェンス工数量表

名称	単位表 20m当り					摘要
	ポスト （H=3（m））	ベースコンクリート（m）	フェンス（m）			
		500×500×400	400×400×400	H=3.0m	H=4.0m	
フェンス（H=3.0m）	0.16本	10	—	20.00	—	
フェンス（H=4.0m）	0.16本	—	10	—	20.00	

数量の修正

注意事項

1. フェンスの設置位置は海岸線に沿うものとするが、具体として金網が道路側にある側に設置するものとする。
2. 金網は鋼線は、JIS G 3302溶融亜鉛めっき鋼板SGH400-Z27（275g/m²）または、JIS G 3532一般用途亜鉛めっき鋼線・SS-400に亜鉛メッキ（400g/m²以上）とし、線径を異なる。
3. 柱の基礎係数（Kd）は2.0以上とする。
4. 金網・鉄線はJIS G 3552（3.3）（粗目）メッキ鉄線に樹脂塗装したもの）とする。
5. 基礎コンクリートは全面および背面斜面部分をラウンドし、滑らかに施工する。
6. コンクリートブロックは、JIS A 5371を参考とする。

名古屋市緑政土木局　作成年月　88.10

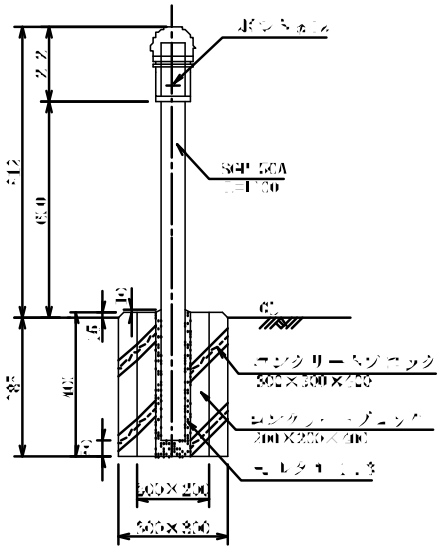
			3 2 0
大分類	中分類	小分類	改訂年度
300 安全施設工	土止工	固定，可動， 可動（鋼付）	38. 10

適用年度の修正

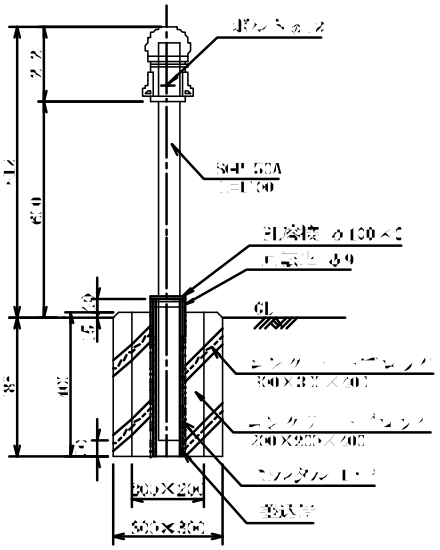
土止工

差込筒詳細図

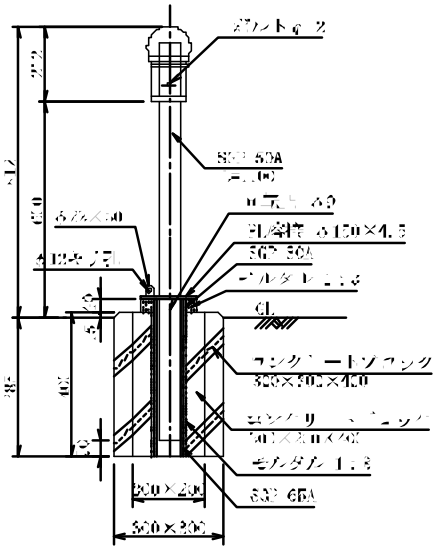
固定

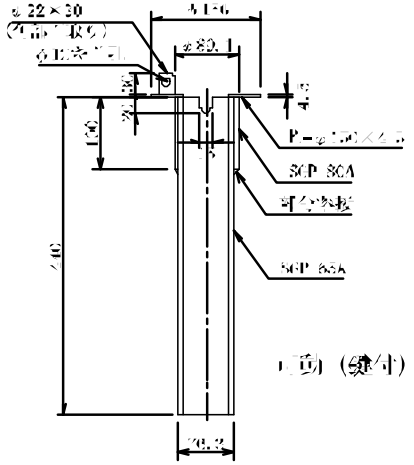


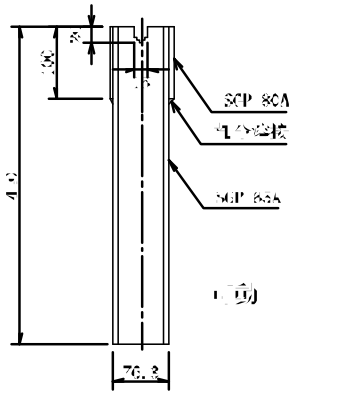
可動



可動（鋼付）







土止（固定，可動，可動（鋼付））材料表

名称		1基当り								摘要
		アンカル（1:3）(㎥)	コンクリートブロック（個）		固定金具 (本)	中間金具 (本)	中間金具 (本)	鋼矢板 又は同等品(枚)	総重量 (kg)	
			200×400×400	300×300×400						
固定	A－1	0.021	－	10	10	－	－	－	1.8	
	A'－1	0.021	10	－	10	－	－	－	1.8	
可動	A－2	0.018	－	10	－	10	－	－	1.8	
	A'－2	0.018	10	－	－	10	－	－	1.8	
可動（鋼付）	B	0.027	－	10	－	－	10	10	1.8	
	B'	0.027	10	－	－	－	10	10	1.8	

数量の修正

注意事項

1. 鉄筋の防錆処理は、電気亜鉛メッキ（JIS H 8641 2種）仕様とする。
2. 各部の名称は、下記は、本資料、コンクリートブロック製品（固定A、A'）を参照とする。
3. 固定A・可動A・B は、300×300×400ブロック使用とし、固定A'・可動A'・B' は、200×200×400ブロック使用とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371に準拠とする。
5. 施工時は、本土止を参照に、本土止を参照のうえ施工するものとする。

名古屋市緑政土木局

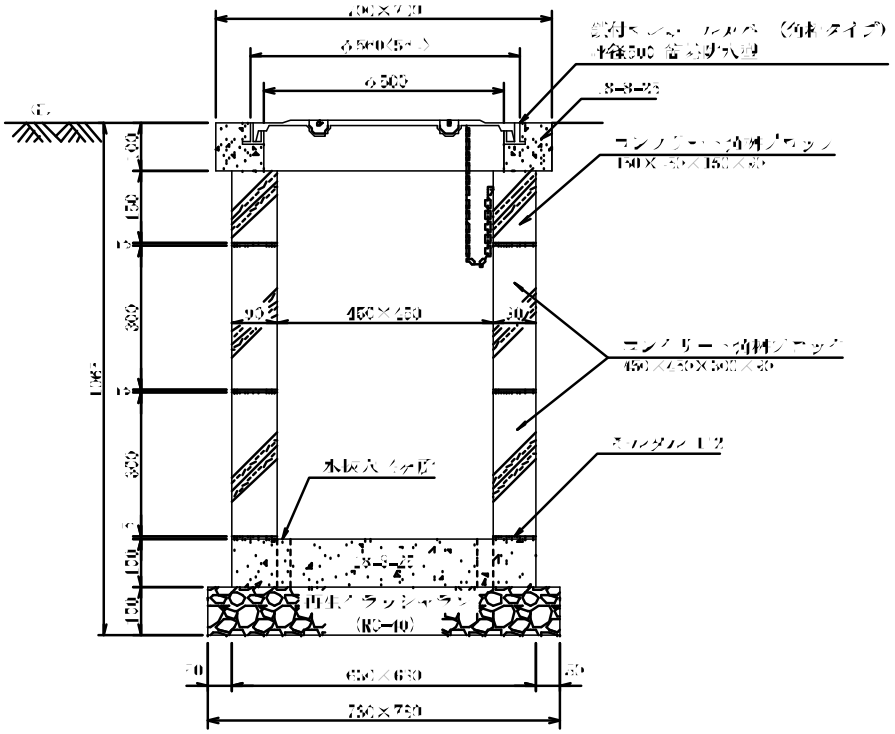
作成年月	88. 7

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気通信工	ハンドホール工	A，A'，B，B'	38.10

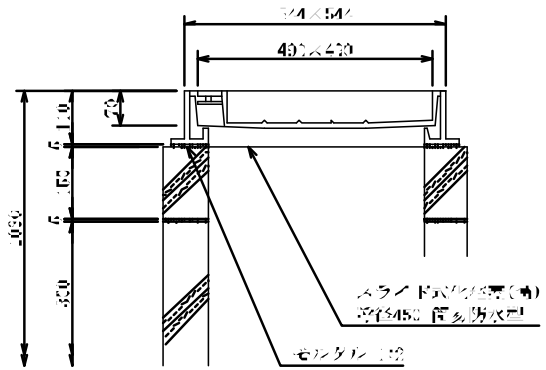
適用年度の修正

ハンドホール二

A，A'



B，B'



ハンドホール二（A，A'，B，B'）材料表

名称	材料								数量	摘要
	コンクリート RC-40 (m³)	ケーブル 18-8-25 (m)	コンクリート蓋(A) (530×300×50)	コンクリート蓋(A) (450×150×50)	マンホールカバー(鋳鉄製) T-2	マンホールカバー(鋳鉄製) T-14	マンホールカバー(鋳鉄製) T-2	マンホールカバー(鋳鉄製) T-14		
A	0.535	6.169	20	10	10	—	—	—	1	
A'	0.535	6.639	20	10	—	10	—	—	1	
B	0.535	6.368	20	10	—	—	10	—	1	
B'	0.535	6.368	20	10	—	—	—	10	1	

数量の修正

注記

1．（ ）内は、A'の寸法とする。
2．電気ハンドホール工は、鋳鉄製、荷重別表、T-2荷重タイプ、一般部T-14以上、車両用支柱鋳込、即時表管理金具mm二丁を、また、鉄心容器二鉄メッキ点とする。

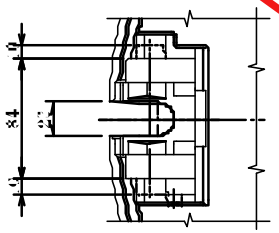
名古屋市緑政土木局	作成年次	18.10

一式差し替え

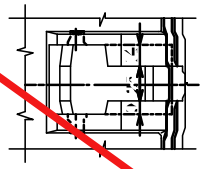
大分類	中分類	小分類	7.3.3 通し番号
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	[-25]	R7.4

人孔鉄蓋構造図

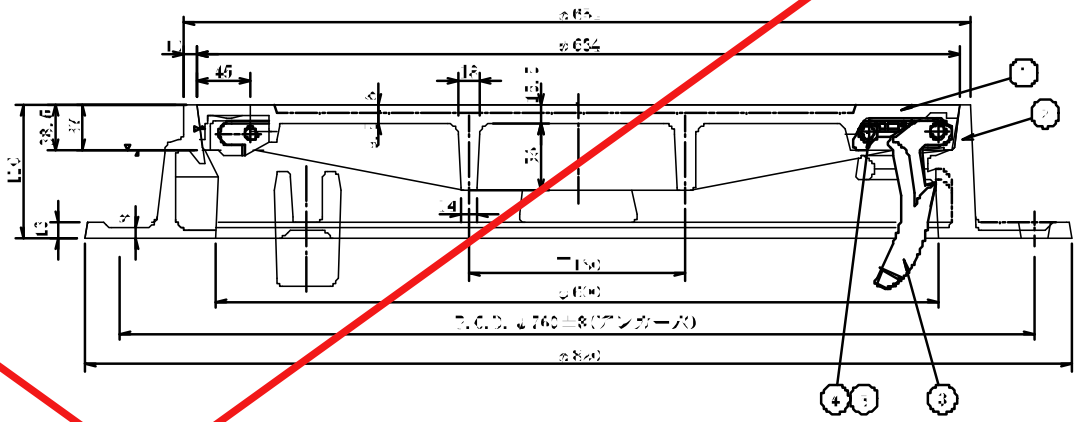
（浮上防止参考図）



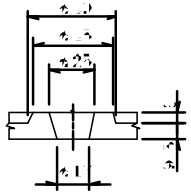
蓋受枠及び受座詳細図



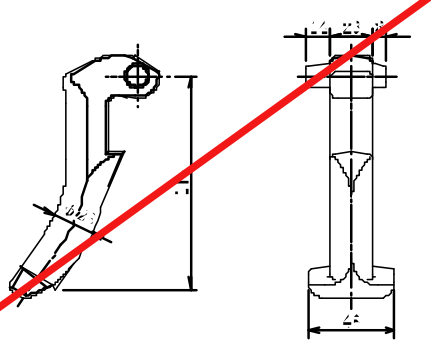
蓋、枠断面図



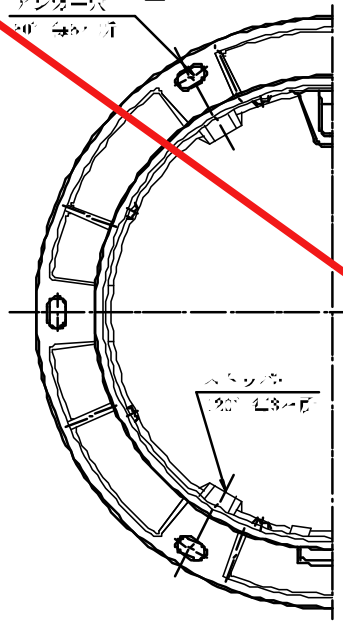
ガス穴詳細図



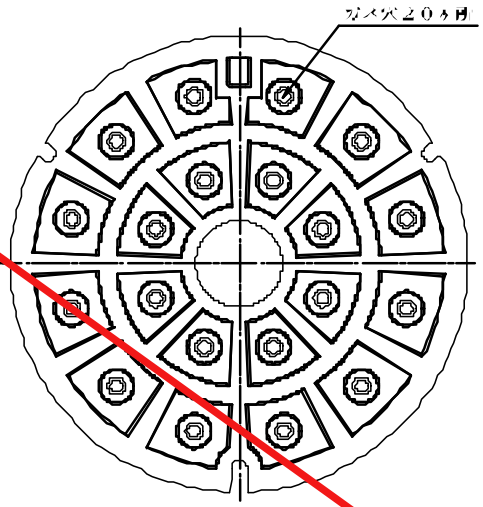
③ 異音物質詳細図



② 受座平面図



① 蓋平面図



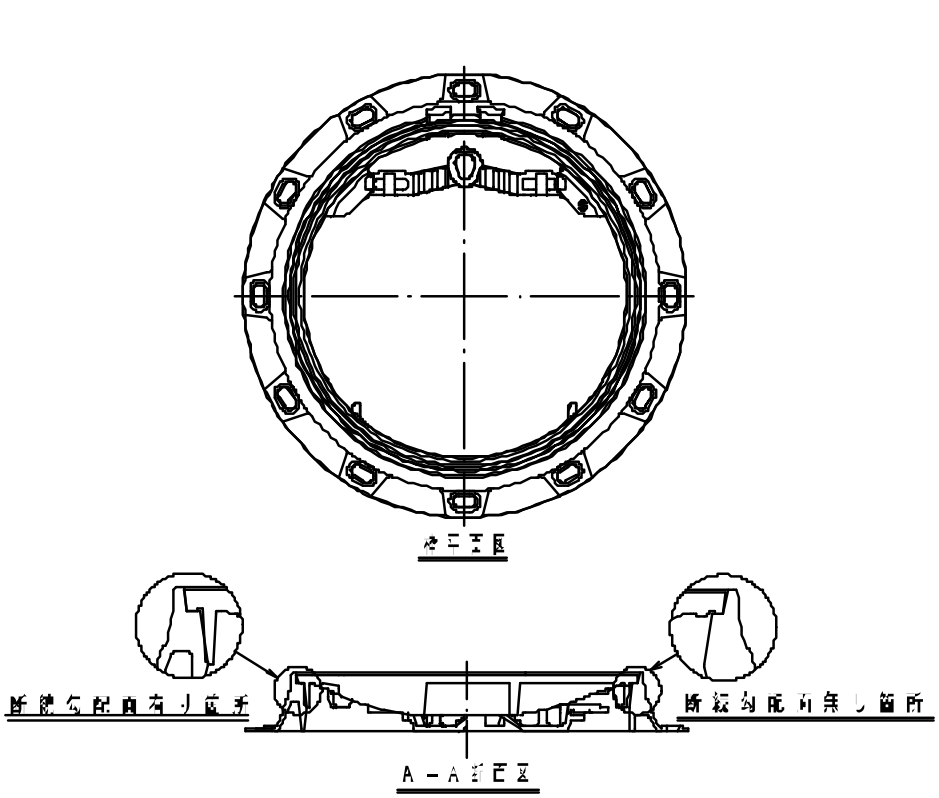
人孔鉄蓋部材表

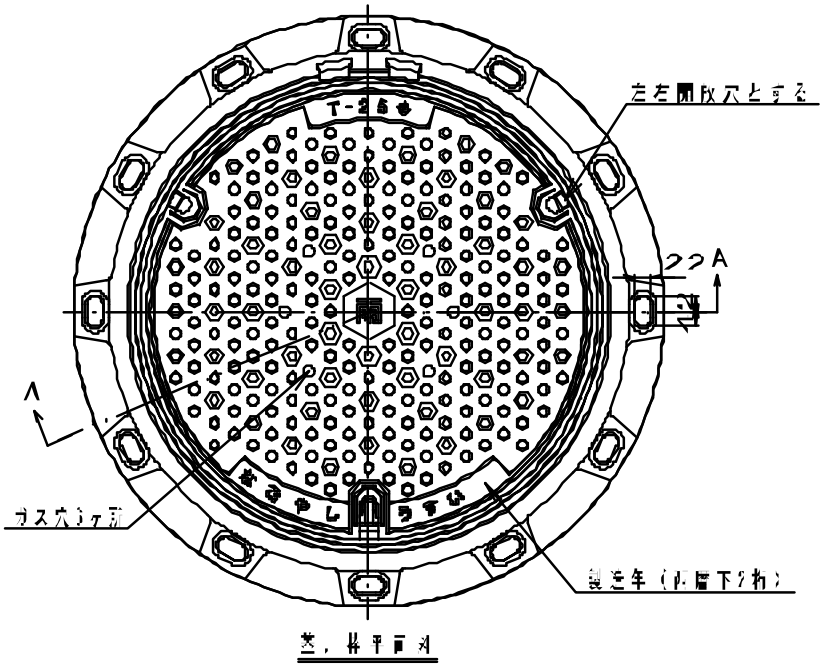
名称		形状	個数	参考重量
①	蓋	[illegible]	1	46kg
②	受枠	[illegible]	1	46kg
③	異音物質	[illegible]	1	
④	蓋受ゴム	PA	1	
⑤	人孔ボルト セット	S 8×30	1	

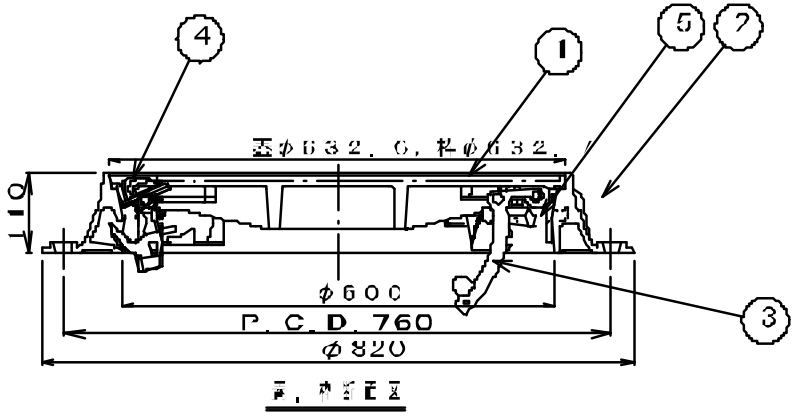
名古屋市緑政土木局 | 作成年月 | R5.4

六分類	三分類	小分類	名古屋市
700 人孔工	人孔鉄蓋標準図	T-25用	H8.10

人孔鉄蓋標準図







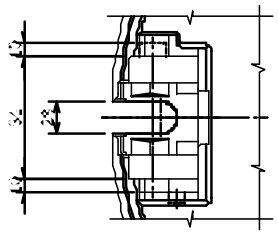
人孔鉄蓋部材表

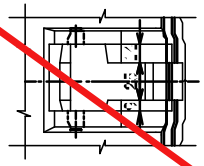
名称		材質	個数	備考
①	蓋	FCD700	1	T－25
②	枠	FCD500	1	
③	受枠	SS41	1	表面ショット
④	特殊ボルト	SCM3	1組	表面ショット
⑤	蓋ロックリング	SS41	1	表面ショット

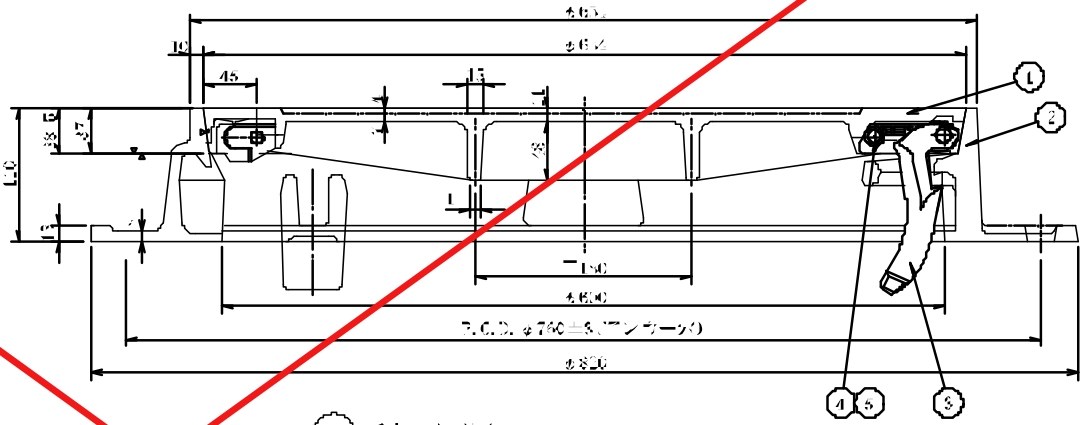
一式差し替え

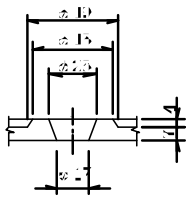
大分類	中分類	小分類	通し番号
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-14以上	7.3.4

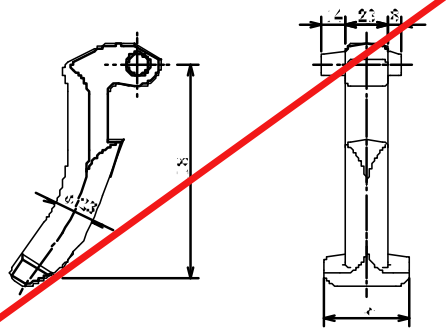
人孔鉄蓋構造図

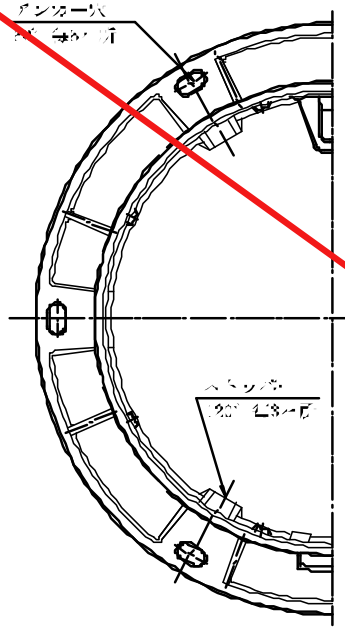


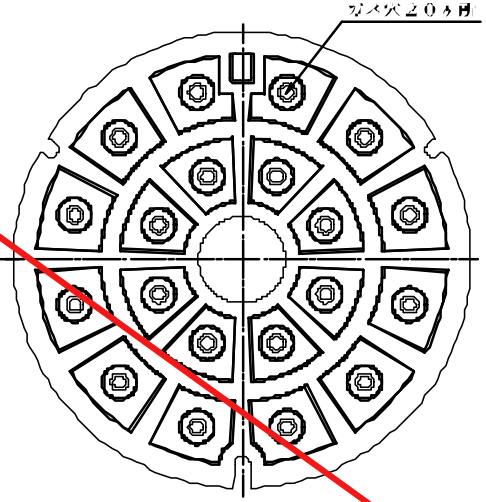












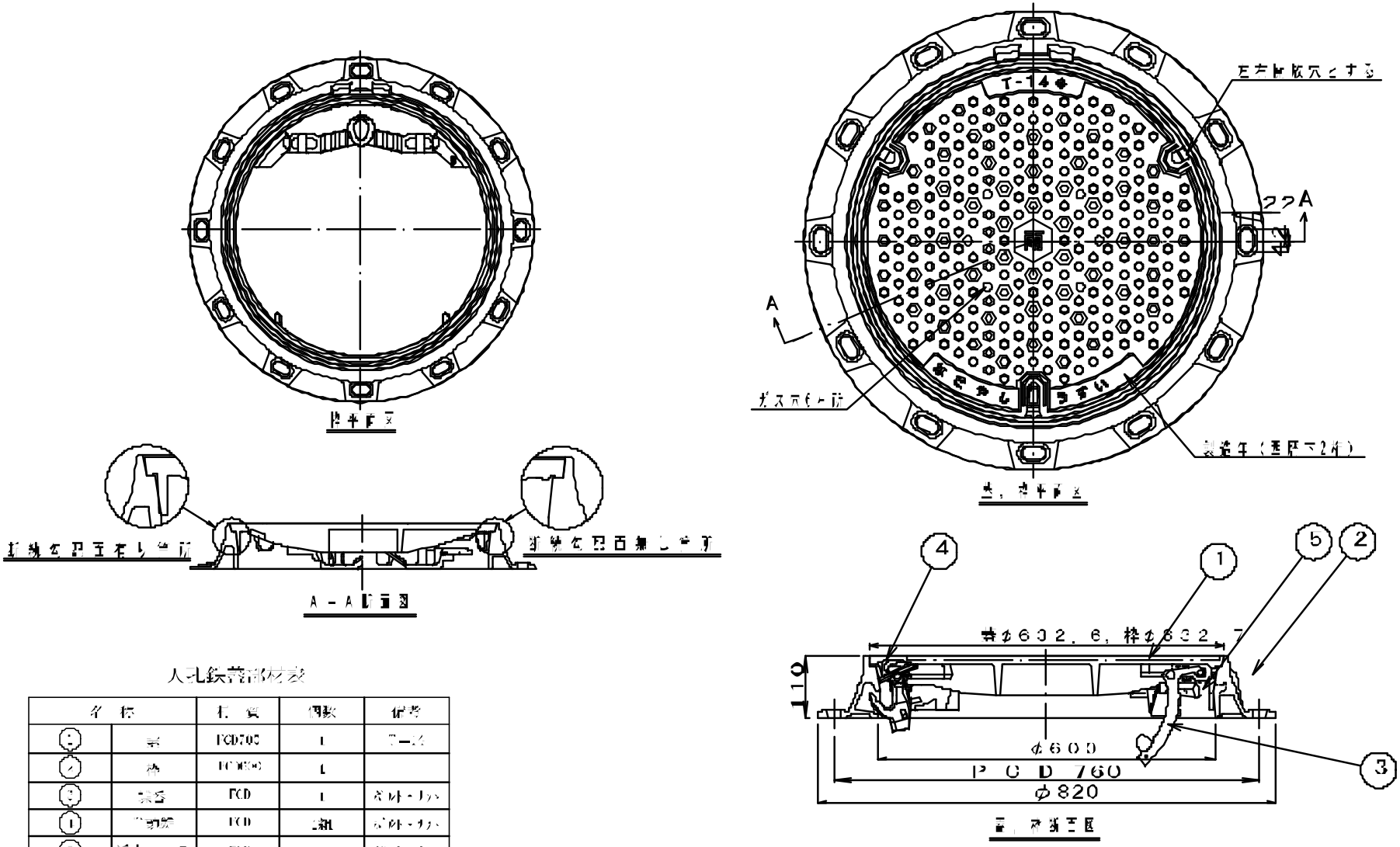
人孔鉄蓋部材表

名称		材質	個数	参考重量
①	蓋	FCD700	1	34kg
②	受枠	SCD600	1	46kg
③	構造物	SCD600	1	
④	緊結ボルト	FA	1	
⑤	人孔用シール(ロング)	S-S-201	1	

名古屋市緑政土木局 | 作成年度 | H19.4

大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-14号	H8.10

人孔鉄蓋構造図



人孔鉄蓋部材表

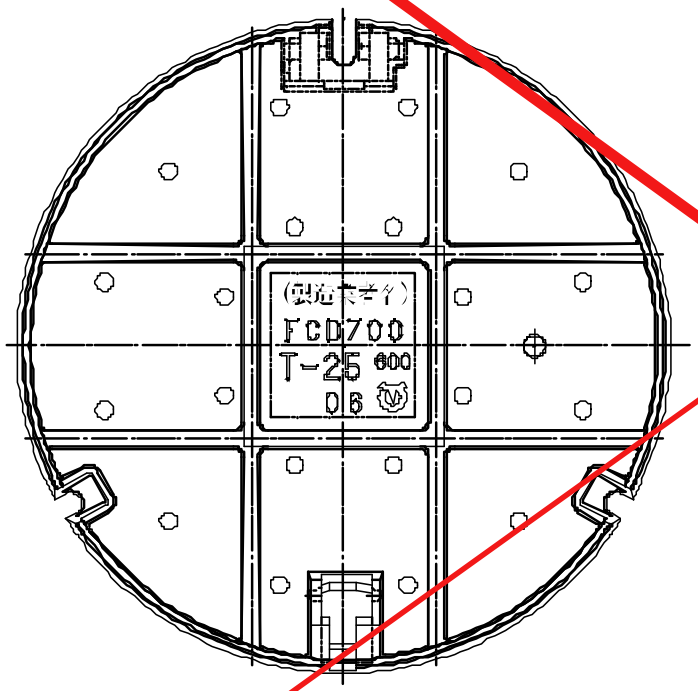
名称		材質	個数	備考
①	蓋	FCD700	1	T-14
②	枠	FCD500	1	
③	受台	FCD	1	ボルト・ナット
④	ヒンジ金具	FCD	2組	ボルト・ナット
⑤	浮上フック	FCD	2	ボルト・ナット

削除

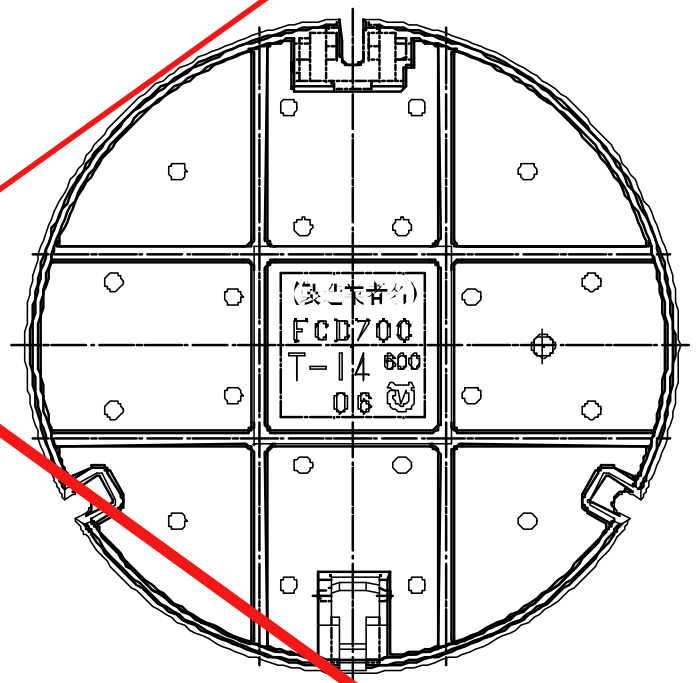
大分類	中分類	小分類	通し頁
700 人孔工	人孔鉄蓋標準図	T-25、T-14	87.4

人孔鉄蓋標準図

T－２５



T－１４

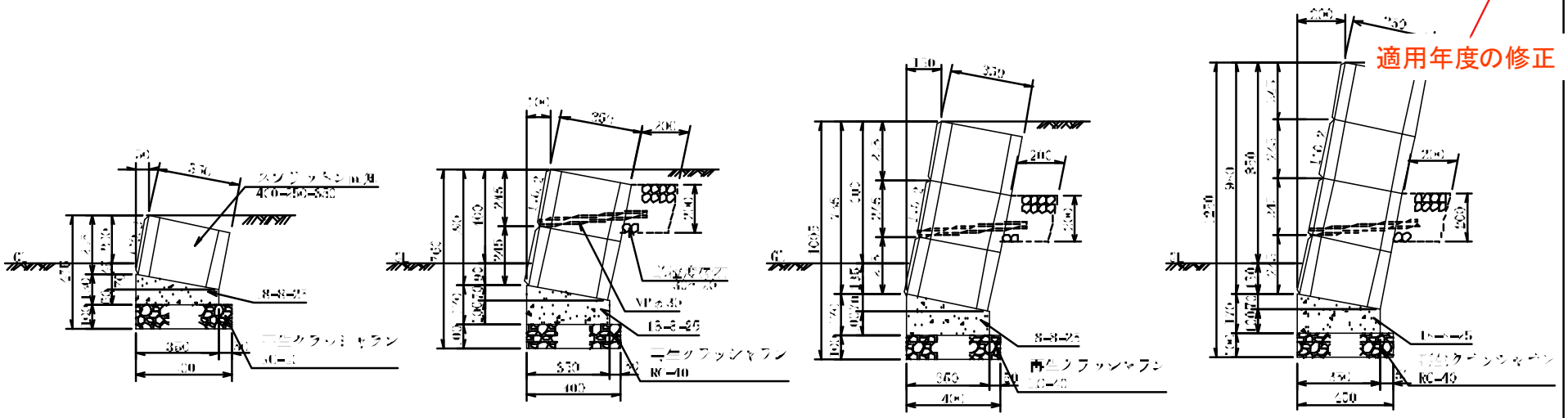


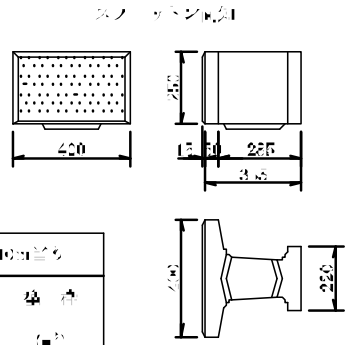
大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	公園ブロック積工	1段、2段、3段 4段	38.10

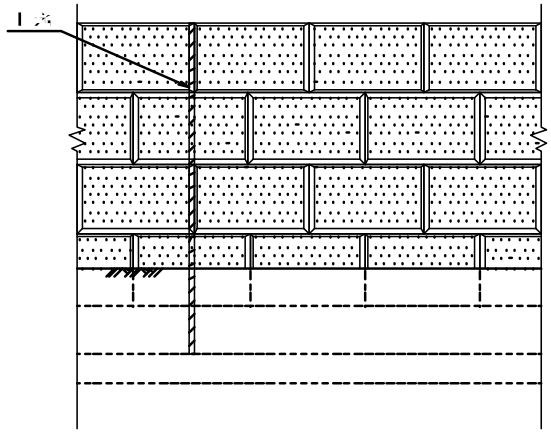
適用年度の修正

公園ブロック積工

1段　2段　3段　4段







公園ブロック積工　数量表

名称	基本表							100m当り
	基礎 クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)		背面ブロック 個数(個) 400×250×350	割栗詰石 20～20(m³)	Φ13(m)	一般工 (m²)	単価 (m²)
		基礎(m³)	胴込(m³)					
ブロック積1段	0.420	0.373	0.478	27.0	—	—	0.181	1,900
ブロック積2段	0.420	0.473	0.956	60.0	0.405	0.85	0.222	2,750
ブロック積3段	0.420	0.473	1.433	75.0	0.405	0.85	0.263	2,750
ブロック積4段	0.420	0.478	1.910	100.0	0.405	0.85	0.307	2,750

数量の修正

注意事項

1. 幅2.0m毎に1ヶ所、1箇所（縦目地2段ユニット）を配置する。
2. 擁壁高が異形ブロック高さの整数倍にならない場合は、調整ブロックを使用する。

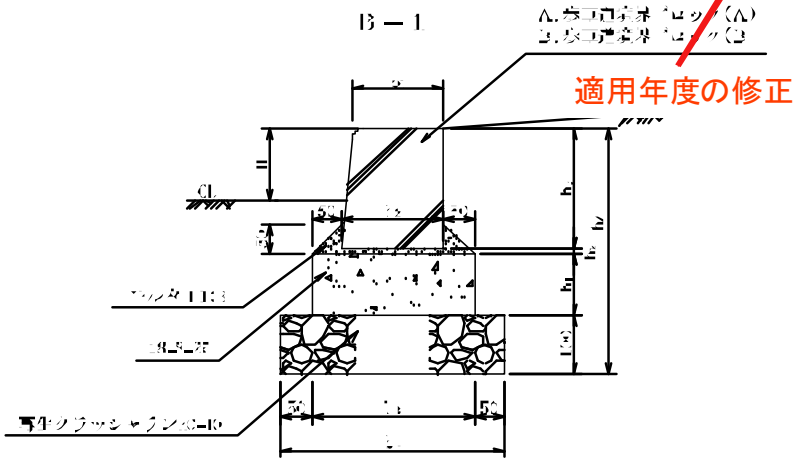
名古屋市緑政土木局	作成年月	38.7

大分類	中分類	小分類	改訂年度
900 緑化工	ブロック張工	A・B	28.10

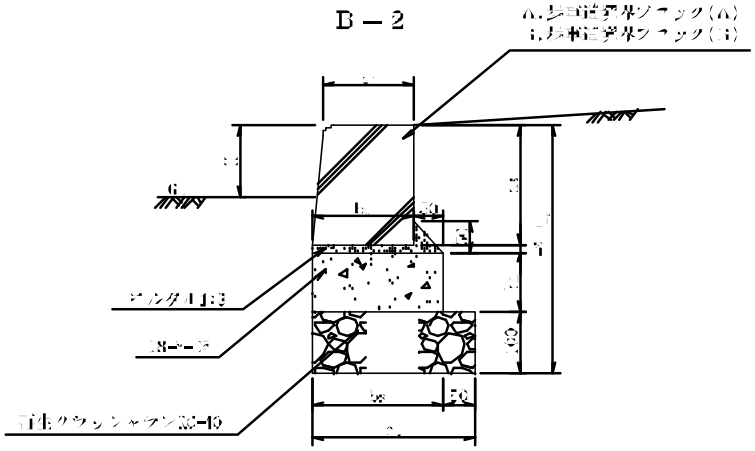
ブロック張工（A・B）

適用年度の修正

A－1
B－1



A－2
B－2



ブロック張工（A・B）寸法表

名称	寸法表 単位(cm)									適用
	b1	b2	b3	b4	H	h1	h2	h3	h4	
ブロック張工(A－1)	150	170	245	270	130	130 0	0 30	300	210 340	Aブロック
ブロック張工(A－2)	150	170	220	270	130	130 0	0 40	300	210 340	〃
ブロック張工(B－1)	150	205	305	405	130	130 0	0 0	350	260 390	Bブロック
ブロック張工(B－2)	150	205	255	405	150	130 0	0 30	350	260 390	〃

ブロック張工（A・B）材料表

名称	材料表 10m当り						摘要
	厚生クラッシャラン(C=30cm)	コンクリート	オールダム(m³)		法面緑化型ブロック(A)	単位	
		(18-8-25)(m³)	型枠ブロック(A)(1:0.3)	型枠ブロック(B)(1:0.2)			
ブロック張工(A－1)	0.370	0.270	0.042	0.104	16.5	2.00	
		0	0.076			0	
ブロック張工(A－2)	0.370	0.270	0.029	0.104	16.5	2.00	
		0	0.064			0	
ブロック張工(B－1)	0.405	0.335	0.046	0.104	16.5	2.00	
		0	0.084			0	
ブロック張工(B－2)	0.405	0.256	0.033	0.104	16.5	2.00	
		0	0.072			0	

数量の修正

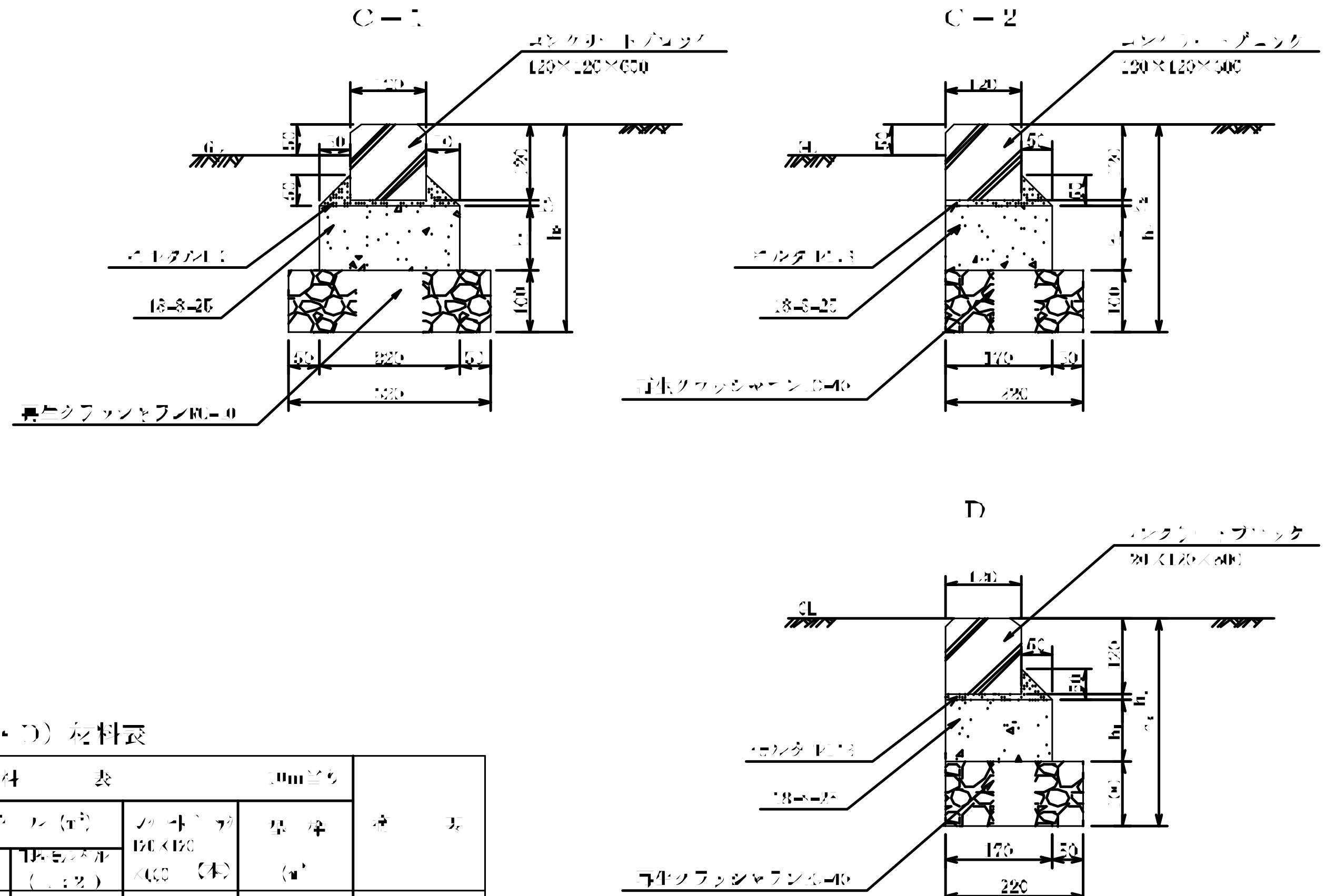
名古屋市緑政土木局

作成年月	R3.7

大分類	中分類	小分類	適用年度
900 縁石工	ブロック縁石工	C・D	R8. 10

適用年度の修正

ブロック縁石工（C・D）



ブロック縁石工（C・D）寸法表

名称	寸法表 単位(mm)			摘要
	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
ブロック縁石工(C－1)	100	10	340	
	0	30	250	
ブロック縁石工(C－2)	100	10	330	
	0	30	250	
ブロック縁石工(D)	100	10	330	
	0	40	250	

ブロック縁石工（C・D）材料表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	セメントモルタル(m³) 敷モルタル(1:3)	セメントモルタル(m³) 目地モルタル(1:2)	コンクリートブロック 120×120×600 (本)	型枠 (m²)	
ブロック縁石工(C－1)	0.320	0.220	0.037	0.001	16.6	2.00	
		0	0.001			0	
ブロック縁石工(C－2)	0.250	0.170	0.02[illegible]	0.001	16.6	2.00	
		0	0.019			0	
ブロック縁石工(D)	0.220	0.170	0.02[illegible]	0.001	16.6	2.00	
		0	0.019			0	

数量の修正

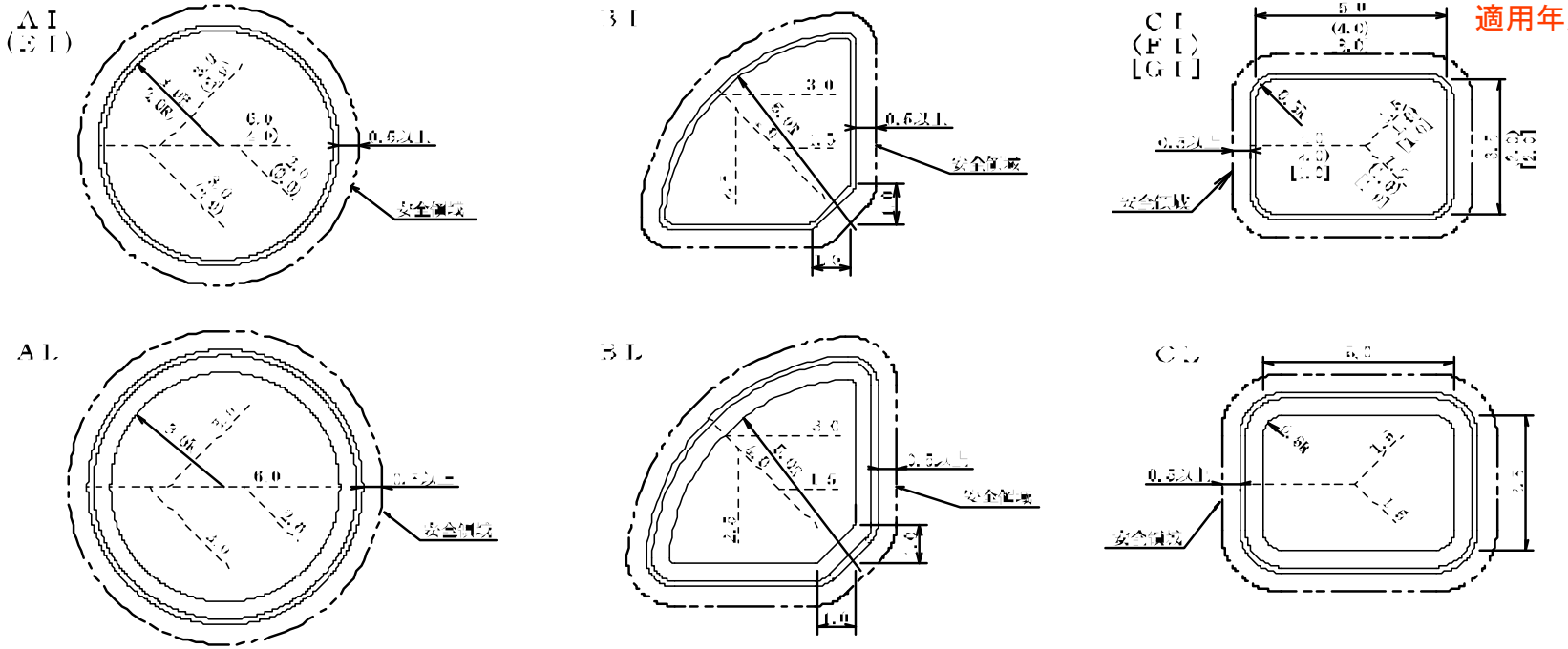
注意事項

1. 寸法単位はmmとする。
2. ブロック縁石Cのブロックは、歩道境界ブロック（A）、縁石ブロック（2号（片面））、洗出しブロック（片面上げ）のいずれかとする。
3. ブロック縁石Dのブロックは、歩道境界ブロック（A）、縁石ブロック（2号（片面））、洗出しブロック（片面上げ）のいずれかとする。

大分類	中分類	小分類	1201 改訂年度
1200 遊戯施設工	砂場工	平面図	38.10

適用年度の修正

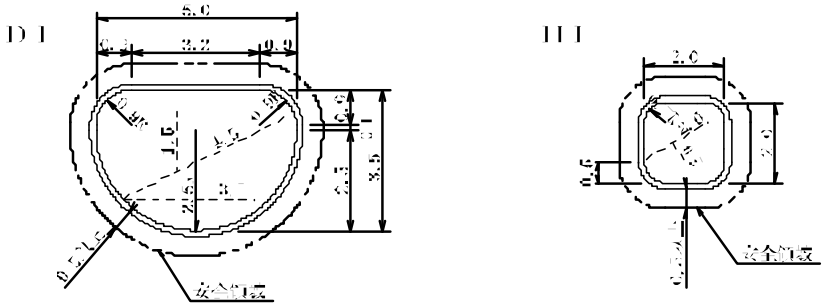
砂　場　工



砂場一覧表

名称		共通					適用
		砂場の幅（m）		砂場の面積（㎡）	砂場最大人数（人）	砂場排水管（m）	
		1	2				
砂場A	A 1	16.3	—	11.5	28.3	14.0	
	A 2	—	20.7	11.5	28.3	14.0	
砂場B	B 1	17.0	—	7.7	9.1	1.0	
	B 2	—	15.1	7.7	9.1	1.0	
砂場C	C 1	16.6	—	6.9	17.3	5.0	
	C 2	—	15.0	6.9	17.3	5.0	
砂場F	F 1	14.6	—	5.8	14.5	4.0	
砂場G	G 1	13.0	—	4.0	9.6	2.0	
砂場E	E 1	13.6	—	4.7	11.8	4.0	
砂場C	C 1	9.6	—	2.8	6.8	3.0	
砂場D	D 1	7.6	—	1.6	3.8	2.5	

数量の修正



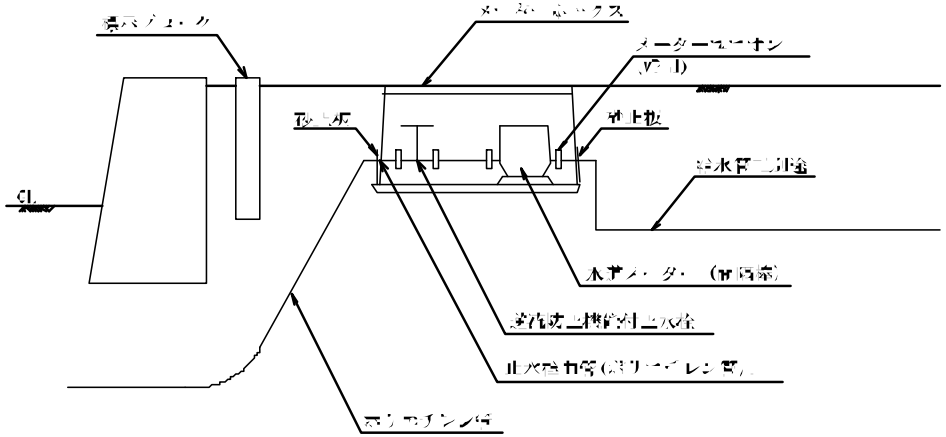
名古屋市緑政土木局

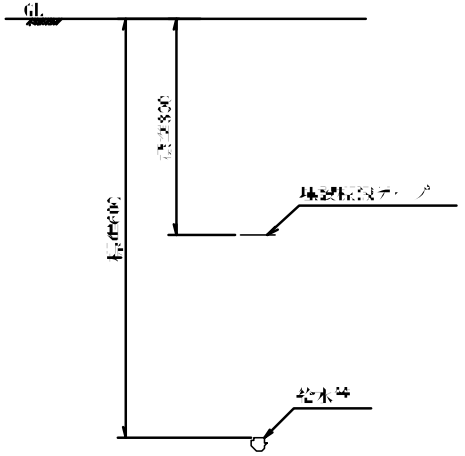
作成年月	R8.7

大分類	中分類	小分類	改訂年度
1300 管工事施設工	止水器取付部工 給水管工	φ13、φ20、φ25	28.10

適用年度の修正

止水器取付部工
給水管工





数量の修正

止水器取付部工、給水管工材料表

名称		材料表																						1ヶ所当り	摘要
		ポリエチレン管 φ22 (m)	ポリエチレン管 φ25 (m)	止水金具(先端金具) (個)			受台(分岐用上部受台) (個)			メーターボックス (個)			メーターユニオン (個)			HIVP (本)			メーター取付管 (本)			保護ブロック 45×45×45 (個)	保護板 (個)	土被調整モルタル t=15cm (m²)	
				φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25	VP φ13	VP φ20	VP φ25	φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25				
止水器取付部工	φ13A	1.50	——	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ20A	1.50	——	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ25A	——	1.50	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	1	——	1ヶ所当り
	φ13B	1.90	——	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ20B	1.90	——	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ25B	——	1.90	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	1	——	1ヶ所当り
給水管	φ13	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	—	—	——	——	10.0	0m当り
	φ20	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	—	——	——	10.0	10m当り
	φ25	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	——	——	10.0	0m当り

注意事項

1. 止水器取付部工は、給水管工を含むものとし、本図は土下へ埋設管を給入しまする。
2. 止水器取付部工のAは、公道よりの取付管0.5m未満、B1は0.5m以上1.0m未満とする。
3. 駐車場等自動車荷重を受ける場所は、強度検査を実施する。
4. 土質は土、礫混じりとするが、その他岩盤ガレキ等を含むときは、別途とする。